

女川町長 安住宣孝殿

女川原発3号機でのプルサーマル実施の可否について

住民投票もしくは住民意向調査を実施するよう求める要請書

2010年2月2日

女川町議会議員 高野 博

女川町議会議員 阿部律子

東北電力が申請している女川原発3号機でのプルサーマル実施について、私どもは女川町の全世帯を対象にしたアンケート調査を進めています。

1月31日までに届いた回答を中間集計したところ、回答数は651世帯分に達していました。わずか2週間で2割近くの世帯が回答したことについて、私どもは住民がこのアンケート調査を支持したことの現われだと受け止めています。

回答の最大の特徴は、回答者の6割に当たる362世帯がプルサーマル計画の実施に「反対」を表明し、「賛成」が112世帯(17%)しかなかったことです。「反対」を選択した人が、その理由に一番多くあげたのは「トラブル続きで心配」で、ヒューマンエラーによる過酷事故への不安があることが浮き彫りになりました。次いで理由として挙げられたのは、「巨大地震が起きたら被害は深刻に」「使用済みMOX燃料の行き場がない」でした。

二月に入ってから届いている回答も傾向は同じで、現状では女川町がプルサーマル計画の受け入れを表明する条件はまったくないと判断しています。

重要なことは、回答した住民の過半数に当たる58%が、住民投票について「必要だ」と回答していることです。安全協定にもとづき女川町が意思表示するに当たり、「住民の理解」が大前提ですが、住民の意向を公式に把握する手続きは何もとられていません。

石巻市との合併が持ち上がった際に、女川町では住民意向調査を行い、多数の意思に従って自立の道を選択しました。プルサーマル計画を受け入れるか否かは、原発を抱える女川町にとって合併に優るとも劣らない重要なテーマです。

したがって私どもは、プルサーマルの実施に関して、住民投票もしくは感度の良い住民意向調査を実施するよう、要請するものです。

以上

女川町議会議長殿

女川原発3号機でのプルサーマル実施の可否について  
住民投票もしくは住民意向調査を実施するよう求める要請書

2010年2月2日

女川町議会議員 高野 博

女川町議会議員 阿部律子

東北電力が申請している女川原発3号機でのプルサーマル実施について、私どもは女川町の全世帯を対象にしたアンケート調査を進めています。

1月31日までに届いた回答を中間集計したところ、回答数は651世帯分に達していました。わずか2週間で2割近くの世帯が回答したことについて、私どもは住民がこのアンケート調査を支持したことの現われだと受け止めています。

回答の最大の特徴は、回答者の6割に当たる362世帯がプルサーマル計画の実施に「反対」を表明し、「賛成」が112世帯(17%)しかなかったことです。「反対」を選択した人が、その理由に一番多くあげたのは「トラブル続きで心配」で、ヒューマンエラーによる過酷事故への不安があることが浮き彫りになりました。次いで理由として挙げられたのは、「巨大地震が起きたら被害は深刻に」「使用済みMOX燃料の行き場がない」でした。

二月に入ってから届いている回答も傾向は同じで、現状では女川町がプルサーマル計画の受け入れを表明する条件はまったくないと判断しています。

重要なことは、回答した住民の過半数に当たる58%が、住民投票について「必要だ」と回答していることです。安全協定にもとづき女川町が意思表示するに当たり、「住民の理解」が大前提ですが、住民の意向を公式に把握する手続きは何もとられていません。

石巻市との合併が持ち上がった際に、女川町では住民意向調査を行い、多数の意思に従って自立の道を選択しました。プルサーマル計画を受け入れるか否かは、原発を抱える女川町にとって合併に優るとも劣らない重要なテーマです。

したがって私どもは、プルサーマルの実施に関して、住民投票もしくは感度の良い住民意向調査を実施するよう、要請するものです。

以上